



令和8年度の学校運営協議会は、昨年度から実施している印西中学校区（印西中・木下小・大森小）をはじめ、印旛中学校区（印旛中・六合小・平賀小・いには野小）、原山中学校区（原山中・内野小・原山小）、単独設置校、船穂小、木刈中、木刈小、小倉台小の4校、合計3中学校区・単独4校、全体では14校で実施する予定です。

コミュニティ・スクール通信1号では、4月に行われた木刈中の学校運営協議会についてお伝えしましたが、今回は5月14日に開催された、印旛中学校区と船穂小学校の学校運営協議会の様子をお知らせします。

印旛中学校区 学校運営協議会 開催レポート

印旛中学校区は、印西市の東半分を占める市内で最も広い中学校区です。創立150年を超える、印西市内で、最も歴史のある小学校の一つである六合小学校や、ニュータウン地区に位置するいには野小学校など、印西市の歴史と新しさを併せもつ地区です。学区内には県立印旛特別支援学校や順天堂大学もあり、小中学校以外とも交流が行われている地区でもあります。



学校長より学校経営方針の説明

印旛中学校区の学校運営協議会は今年度から設置されました。

議事1では学校運営協議会基本方針の承認が行われ、議事2で各小中学校の学校経営方針について説明がありました。その後、説明を受けて、各学校に分かれて熟議（意見交換）を行いました。



熟議の様子

印旛中学校グループからは「小中の円滑な接続」、「不登校生徒への支援」などについて意見が出されました。小規模校である六合小学校では、「人間関係の固定化に伴う表現力の課題」などが話し合われました。平賀小学校は「体験活動の充実」について、また、いには野小学校では「学校施設および敷地の安全対策」や「児童の安全管理」などについて意見が出ました。

委員の方々が主体的に支援活動にかかわろうとする意識の高まりが感じられる、学校運営協議会となりました。

船穂小学校 学校運営協議会 開催レポート

船穂小学校は、六合小学校と同様に、印西市内で最も歴史のある小学校の一つです。令和5年度には小規模特認校に認定されています。

船穂小学校でも今年度より学校運営協議会を立ち上げ、単独校として設置されました。

熟議では、船穂小学校としての、「地域」のとらえ方が話題となり、「『小規模特認校として、どのように地域コミュニティを形成していくか』が課題である」という意見が出されました。

また、「高齢の方が多い船穂小学校区において、学校を地域の核としてどのように生かしていくか」、「自然環境や、小規模特認校としてのきめ細やかな指導、家庭的な雰囲気の魅力がある」、「教師が生き生きとゆとりを持って働くことが、子どもたちの豊かな心の育成につながる」など、小規模校である船穂小学校の強みを生かしながら、教師の働き方改革にもつながる視点で意見交換が行われました。

「学校と地域のために！」という強い思いが感じられる学校運営協議会となりました。

